

拠出金・基金  
の名称

国連プロジェクト・サービス機関拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】 The United Nations Office for Project Services (UNOPS)

【所管官庁担当局課・室名】 外務省国際協力局地球規模課題総括課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

イエメン、イラク、ウクライナ、ソマリア、パレスチナ、ブルキナファソ及びヨルダンといった、国内外における紛争の影響を受けた国・地域で発生した喫緊の支援ニーズに対応することを目的として拠出。具体的な用途としては、食料を含む生活必需品が迅速にイエメンに入国するための輸入手続の透明化及び効率化支援、イラクにおける地雷除去、再生可能エネルギーによる電力供給、廃棄物処理支援、ウクライナ東部における安定した水供給支援及び治安維持能力向上、ソマリアにおけるインフラ整備に関する職業訓練を通じた若年層の生計手段へのアクセス向上支援、パレスチナのガザ地区における再生エネルギーによる電力供給システムの再構築及び維持、ブルキナファソの国境管理能力向上及びマリから流入する難民保護支援による社会安定化等の事業実施。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	1,804,418	16,403	-	1米ドル=110円	95
平成28年度	2,439,348	20,328	-	1米ドル=120円	97
平成27年度	3,303,850	30,035	-	1米ドル= 110円	62

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

UNOPSは、治安上の制約から我が国の支援機関による活動が限定的な現場において、現地ニーズに即し、かつ我が国が重視する分野で事業を迅速に形成・実施しており、我が国の二国間援助を補完する観点からも極めて重要なパートナーである。2017年には、イラクの新解放地域において太陽光パネルを利用した再生可能エネルギーによる電力供給や、廃棄物処理に必要な機材及び車両の調達供与を通じて住民の生活環境の改善に資したほか、ソマリアでは紛争により破壊されたインフラ整備事業に現地住民を積極的に雇用するなど、人道支援が長期的な社会安定化に繋がるよう配慮した案件実施で着実に成果をあげている。我が国は、UNDP/UNFPA/UNOPS執行理事会への参加を通じてUNOPSの組織運営に対する発言権を有している他、現地ベースでUNOPS国事務所と我が方大使館、及びUNOPS本部と本省の間で緊密に意見交換を行っており、我が国が重視する政策(強靱なインフラ、ジェンダー、再生可能エネルギー等)に対してUNOPSが柔軟に前向きな対応を示していることは高く評価される。また、我が国支援事業の成果物への日章旗貼付、式典等に我が方大使館及び先方政府を招待した上で現地メディアによる広報をアレンジするなど、UNOPSは我が国のビジビリティの確保に積極的に意を用いており、実際、現地(ヨルダン)において本拠出による案件が日本の貢献によるものであることは現地関係者及び住民の間では周知の事実となっていることを確認した。

【備考】

UNOPSは独立採算制で組織運営する唯一の国連機関であり、常に効率化、機能強化、コスト削減、合理化を推進している。2017年には、組織運営呼び事業に係る情報の電子化をさらに推し進め、意志決定の効率化、透明性の確保、一貫性とコンプライアンスの強化を図った他、国際標準化機構(ISO)からISO9001(品質マネジメントシステム)及びISO 14001(環境)の認証を受けるなど、機能強化及び組織の客観的な信頼性向上に積極的に取り組んだことは評価に値する。